

1. 件名：高浜発電所4号機 「PR 中性子束急減トリップ」信号による原子炉自動停止
2. 日時：令和5年3月9日 16時00分～17時40分
3. 場所：原子力規制庁2階打合せスペース（テレビ会議システムを利用）
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 実用炉監視部門

村田統括監視指導官、菊川管理官補佐、小野上級原子炉解析専門官、小林主任  
監視指導官

高浜原子力規制事務所

嶋崎所長、城内原子力運転検査官、杉岡原子力運転検査官、高岡原子力運転検査官

関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）

原子力事業本部 原子力発電部門 原子力保全担当部長 他13名

#### 5. 要旨

- (1) 令和5年1月30日に発生した高浜発電所4号機の「PR 中性子束急減トリップ」信号による原子炉自動停止について、同年3月7日の公開会合にて指摘した事項について関西電力から資料に基づき説明があった。
  - 炉外核計装装置(NIS)挙動解析関連の追記
  - 電流低下した1本の制御棒(D6)の明記
  - 電流値が上下するメカニズム
  - 部分挿入で得られた知見、再発防止の追記
  - 制御棒駆動機構(CRDM)ケーブルの格納容器貫通部の点検履歴等
- (2) 原子力規制庁から、3月14日の公開会合にて向けて資料を整理し、説明するよう求めた。また、今後の監視や点検・保守に関する内容についても次回の公開会合において説明するよう求めた。

#### 6. 提出資料

資料1：高浜発電所4号機 原子炉自動停止について（3月7日公開会合でのご指摘事項への対応方針）

以上